

令和7年度岡谷技術専門校運営協議会 主な意見

開催日時: 令和8年(2026年)2月

項目	学科・訓練科	構成員からの主な意見	校からの回答・校の考え方
評価シートに関する事	応募・入校に関する事 ものづくり技術科 機械制御科 FA装置科 プロダクトマネジメント科	・ものづくり技術科ほか各科における定員充足率の向上にむけて、岡谷市としても、周知協力に取り組んでまいりたいと考えております。 ・諏訪地域の製造業を支えるために技術専門校は重要です。入校者を増やすための更なる検討・改善をお願いします。 ・入校者を増やすことは、地域の基幹産業である製造業の技術者確保に直結すると思います。圏域外(県外)からの入校も積極的に受入れていくことで、県内企業への就職が見込めると思うので、域外への発信も考えて頂けるとありがたいです。 ・募集定員に対する応募者数の倍率が全体的に低いと、技術専門校とハローワークで連携して積極的な周知を行う。令和6年度はすべての科において、就職率が100%であり、その実績を効果的に周知する工夫が必要と考えられる。 今年度岡谷所との連携で、技術専門校内で企業説明会を行う催しがあったと思われるが、今後諏訪所も連携しながら継続的にそのような取り組みができれば、周知に繋がると考えられる。	・定員充足率の向上にむけて周知協力にお取り組みいただき、ありがとうございます。 本校としましては、公立・私立高校訪問の回数を増やし、高校新卒者の確保、自治体等主催の就職相談会等への参加、ハローワークとの連携事業を活用した校見学回数増加による離職者の確保に向けて、積極的に周知を図ると共に、皆様からのご意見を踏まえ、訓練内容の検討を重ねながら、受講生の増加につながるよう努めます。 ・圏域内における上記の取組みに併せて、今後は県外の長野県機関との連携及びSNSなどの活用により、圏域外へも積極的にPRしていくような広報について検討いたします。 ・応募への積極的な周知についてご支援いただき、ありがとうございます。今後の応募の周知にあたっては、高い就職率をアピールできるよう検討いたします。 貴所との連携による本校内での企業説明会の実施につきましても、前向きにご検討いただくようお願いいたします。
	訓練に関する事 ものづくり技術科 機械制御科 FA装置科 プロダクトマネジメント科	特になし	
	就職に関する事 ものづくり技術科 機械制御科 FA装置科 プロダクトマネジメント科	・求人数が安定しているのは一定企業から信頼度と満足度が高いことかと存じます。引き続き多くの企業に同校の魅力を伝えていただきたいと思います。	・研修等参加による指導員の指導内容アップと訓練生満足度の向上を図るとともに、本校のホームページの見直しを図っておりますが、今後は新たな媒体により校内の機材や育成カリキュラムの魅力を積極的にPRしていくような広報について検討いたします。
	参考指標に関する事 ものづくり技術科 機械制御科 FA装置科 プロダクトマネジメント科	特になし	
	その他	特になし	
地域の学びの場としての技術専門校のあり方、カリキュラムについて	・汎用機械等の貴重な機械設備などを活かして、地域産業を支えている技術者レベルの底上げや、新しい技術や製品開発も視野に入れた訓練を継続的に実施していただきたい。 また、地域産業界からの様々なニーズの把握により、多様なカリキュラムの提供を継続して実施していただきたい。	・令和8年度実施予定のスキルアップ講座については、新人向けから経験者向けまで技術者のレベルにあった訓練を実施します。新製品開発も視野に入れた訓練という点においては、オーダーメイド型として各事業者の課題をテーマとした訓練をお受けできますので、個別にご相談ください。	
	・これからも製造業を基幹産業として支えて行くためには、時代のニーズをとらえたカリキュラムの構築(入替)が必要と考えます。	・ものづくり技術科のカリキュラムについては長年にわたり地域の製造業を支える人材を育成してきたと自負しておりますが、今後も引き続き本校の校目標である「技術の修養と人間形成」に基づいた人材育成を図るとともに、時代のニーズをとらえたカリキュラムの構築を検討いたします。	
	・学校の広報活動については前年度より世代や性別に応じ工夫をされることでしたので、引き続き魅力の発信をお願いします。またスキルアップ講座に自動車整備士受験講座設置のご検討を引き続きお願いします。	・引き続き、世代や性別に応じた広報を工夫するとともに、今後は新たな媒体により校内の機材や育成カリキュラムの魅力を積極的にPRしていくような広報について検討してまいります。また、講師の確保や設備等に係る費用が見込まれるため、スキルアップ講座も含め新しい講座の開設は極めて困難な状況ではありますが、ご要望を本課に伝えます。	
	・伊那の南信工科短大に同じような科目があり、入学者の分散に繋がっていることはないでしょうか。両校の役割、棲み分けを明確化し、PRすることが技専のあり方、入学者の増加に繋がれば良いと思っています。	・南信工科短大は高度職業訓練を行い、いわゆるテクニシャン等高度な専門知識・応用的な技能を持つ労働者の育成を目標とします。これに対し、技術専門校は普通職業訓練を行い、熟練労働者など、現場に必要な実践的な知識・技術の習得を目標とします。双方の役割、棲み分けを明確化してPRすることで、普通職業訓練を希望する者の確保に努めております。	

項目	学科・訓練科	構成員からの主な意見	校からの回答・校の考え方
地域の学びの場としての技術専門校のあり方、カリキュラムについて		<p>・製造業に必要とされる校内常設訓練への入校者数が少ない状況の原因は何でしょうか。民間活用委託訓練では、介護現場では厳しい状況下でありながら介護職訓練が3コース成立しない原因も気になります。</p>	<p>・高卒者の減少が影響していると考えられます。ちなみに令和6年度、令和5年度は新卒者がおりましたが、令和7年度はおりません。 民間活用委託訓練の介護職訓練の応募者が少ないため、コースが成立しない要因について、最も現場感覚があると思われるハローワークの支援員に確認したところ、介護現場は人手不足の一方、長年介護職に就いていた方が体調を崩して他へ転職する事例が多い。また、介護職を志したいと潜在的に考えている人からの問い合わせもあるが、様々な情報が入り、今一歩踏み出せないのではないかとのことです。</p>
		<p>・諏訪圏内の求職者にとって、地域に技術専門校があることは強みだと考えられる。その強みを活かすためには、引き続き高い就職率を維持できる支援とカリキュラムの充実が必要と思われるが、令和7年度在校生を対象とした満足度調査では、プロダクトマネジメント科において、「やや不満」の意見があるため、その原因を把握し改善が求められる。</p>	<p>・満足度調査の結果について、その原因を把握し改善を図ります。また、今後に向けて訓練生や外部講師とのコミュニケーションを強化し、満足度の向上に努めます。</p>
在職者の入校について		<p>・人材不足の状況が続くなかで、少ない人員でも受注した仕事に対して、生産対応できるよう、社員の技術・知識レベルの向上を図りたいという地元企業の要望も多いため、スキルアップ講座など勤務と並行しながら学べる講座など、引き続き効果の高い講座の実施をお願いいたします。</p>	<p>・令和8年度実施予定のスキルアップ講座については、新人向けから経験者向けまで技術者のレベルにあった訓練を実施します。企業や団体の要望に応じたオーダーメイドの講座も開設の実績があり、年間を通じて出来る限り企業の要望に沿った内容で講座を開設いたします。</p>
		<p>・高齢化により技術の継承が難しくなっているという声を企業訪問の際にお聞きすることが増えました。どのような技術習得が求められるかを聞きとったうえで、必要なメニューを設けて頂きたい。</p> <p>・学びの受け手である地域企業がどのような内容の社員教育を行いたいとのニーズがどんな状況か。そんな点を連携した検討ができれば地域産業の活性化につながるのでは！</p>	<p>・今年度企業から2名が派遣され校内訓練生として6カ月のカリキュラムに取組み、技能習得を行いました。企業派遣では派遣企業のアンケート調査を通じて企業側のニーズを調査しております。これにより把握した企業側のニーズをカリキュラムに反映し、企業から派遣される校内訓練生の増加に努めます。</p>
		<p>・企業の要望・需要に応じた講座開設ありがとうございます。即日募集定員に達する講座の受け入れ対応強化にご検討いただければと思います。</p>	<p>・人気の高い講座については、1企業当たり2名までの原則はございますが、近隣の技術専門校で実施する同様な講座の紹介等、可能な限り柔軟な対応を検討いたします。</p>
		<p>・諏訪圏の各企業では人材不足との状況がありますが、関係機関が連携し企業ニーズを確認し、ニーズに合った人材育成の場となればと思います。</p>	<p>・今後も行政と民間が協働して、それぞれが抱える地域の課題を解決していく場と機会が必要だと考えます。運営協議会等で寄せられたご意見を参考に、地域が求める人材育成に務めます。</p>
		<p>・事業所訪問の際に、求人者から「人員の関係で教育体制を整えるのも大変」という趣旨の意見が何度かあり、技専のスキルアップ講座の必要性を強く感じる。 今後事業所訪問の際に、そのようなご意見があれば、スキルアップ講座に関する案内ができるようにハローワークとしても努める。 HPを見ると、オーダーメイド講座の案内があるが、これまでの実績があれば、掲載できる範囲で載せると、よりイメージが湧き、周知が効果的になると思われる。</p>	<p>・事業所訪問の際のスキルアップ講座に関する案内について、よろしくお願いたします。 HPのオーダーメイド講座の案内について、過去の実績を掲載いたしました。</p>
その他(運営に関すること)		<p>・入校生の減少傾向が大きな課題と思われれます。人口減少とあわせ、IT化も進む中、ものづくりに対する想いを持つ方も減少があるのかと推察します。認知度の向上に引き続きご尽力いただき、多くの方に貴校の取り組みが刺さることを期待するところです。</p>	<p>・公立、私立高校訪問の回数を増やし、高校や自治体等主催の就職相談会等への参加、ハローワークとの連携強化を含め、積極的に周知を図ると共に、皆様からのご意見を踏まえ訓練内容の検討を重ねながら受講生の増加につながるよう努めます。</p>
		<p>・募集チラシのデザインについて、訓練内容の項目名(旋盤・マシニングセンター・リレーシーケンス等)とともに実写を複数枚載せているが、一目見たときに、何が学べるか不明瞭な印象がある。未経験でこれから初めて製造業を考えようという求職者には、その専門用語の簡単な説明やイメージを短い言葉で示した方が、効果的ではないかと考える。</p>	<p>・ご指摘いただいた内容をはじめ、募集チラシへのわかりやすい説明の掲載に努めます。</p>